

平成30年度秋田県立大学公開講座

〈テーマ〉「秋田 その未来 ～秋田の『イスナ』を育もう～」

入場無料
〈要申込〉

12月15日 土
13:00～15:00

〈会場〉秋田市カレッジプラザ 講堂

お申し込み方法

ハガキ、インターネット、FAXで郵便番号・住所・氏名・電話番号・職業をお知らせください。受付完了に関してのご連絡はいたしません。ただし、定員になり受講できなくなった場合は、その旨ご連絡いたします。インターネットでお申し込みの場合、本学ホームページ(<http://www.akita-pu.ac.jp>)にアクセスし、必要事項を入力し送信してください。携帯電話からは右の読み取りコードからアクセスし、送信してください。

〈個人情報の取り扱いについて〉申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、本学主催の公開講座開催の案内以外の目的で使用することはありません。



〈講師〉境 英一 (システム科学技術学部 機械工学科 助教)

「地球環境にやさしいプラスチックとその応用」

プラスチックといえば昨今、海洋などの環境汚染の深刻化や生態系への懸念すべき影響から、一部の企業が使い捨て製品への使用全廃を発表するなど、連日のようにメディアに取り上げられており、禁止・抑制の気運が世界的に高まっています。このような背景をもとに今、ますます注目されてい

る材料が、自然界に還る“生分解性”を示すプラスチックです。

この講義では、プラスチックが今抱えている問題を打破する可能性を持つ「生分解性プラスチック」について解説し、民生製品や花火の玉皮などへの応用に関する取組事例を紹介いたします。

〈講師〉今西 弘幸 (生物資源科学部 フィールド教育研究センター 准教授)

「ラズベリーを育てる、売る、食べる： 地域と大学の取り組み」

ラズベリーは夏から秋にかけて小さく甘酸っぱい果実を付けます。赤い果実がよく知られていますが、黒色や黄色の果実もあり、それぞれ味や香りに特徴があります。秋田のような寒冷地に適する作物で、五城目町や能代市をはじめ秋田県内で生産が増えてきています。それに伴って、県内の菓子店やレストランなどで地元

産のラズベリーが使用されるようになってきています。

この講義では、ラズベリーを五感で学び、五城目町や能代市と秋田県立大学の共同研究としてのラズベリー産地化の取り組みを紹介し、今後の展望について考えていきます。



秋田県立大学 全国高校生建築提案コンテスト2018

テーマ：もてなす建築

秋田県立大学では、これからの時代を担う高校生の皆さんに、未来の生活における建築の姿を考える機会を持っていただこうと、2007年から「高校生建築提案コンテスト」を開催しています。12回目となる今回は「もてなす建築」をテーマとしましたが、全国の高校生の皆さんから61点の応募がありました。審査結果は次のとおりとなりますが、ご応募いただいた高校生の皆さんやご指導に当たられた各高校の先生方には、この場を借りてお礼申し上げます。



審査結果 ※各同一賞内は、作品受付順

■最優秀賞 (1点) ○「海外に発信!車いすの人でも楽しめるアクセシブルな住まい
～別府の魅力を十二分に堪能することができる場所～」

山下 悠夏(大分県立鶴崎工業高等学校3年)

■優秀賞 (2点) ○「有機的デザイン建築でもてなし～渋谷スクランブル再生計画の提案～」

長谷川 愛(東京女学館高等学校1年)

○「ババヘラ ステーション」

佐藤 礼里、早坂 由佳、藤崎 麗花、吉田 遥香(秋田県立秋田工業高等学校3年)

■佳作 (7点) ○「砺波平野の龍宮城。」前澤 颯飛(富山県立富山工業高等学校3年)

○「サイクリングの聖地とお道の融合～「QUBE HOUSE」によるおもてなし～」藤林 風暖(愛媛県立今治東中等教育学校5年)

○「七つ星トイレ」長谷川 修介、大橋 荘偉(秋田県立秋田工業高等学校3年)

○「道の駅 和傘」渡邊 健太(福島県立郡山工業高等学校3年)

○「混コース ～concorse～」奥田 涼太郎、草野 百々、浅子 港(埼玉県立大宮工業高等学校3年)

○「笑顔と心 ～庭が繋ぐ、心と人～」小峰 大空(静岡県立科学技術高等学校3年)

○「仮設交番 ～ANDON～」徳村 隼(兵庫県立尼崎工業高等学校3年)

県立大だより
Window 2018.12.
No.164

Akita Prefectural University
秋田県立大学

本部 〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西241-438 Tel.018-872-1500 Fax.018-872-1670
E-mail.koho_akita@akita-pu.ac.jp http://www.akita-pu.ac.jp

